

校長室だより

第13号

平成29年11月16日

MOTTAINAI (もったいない)



本当の強さとは 父子でつかんだ世界王座

ドキュメンタリー
NHKのおすすめドキュメンタリーを紹介します

父子で挑む世界王者 村田諒太

「闘う哲学者」

修学旅行から帰った夜、何気なく観たテレビで、先日世界チャンピオンになったプロボクサー・村田諒太さんのドキュメンタリーをやっていた。無類の読書家で、深い思考と発言から、「闘う哲学者」とも言われる村田さん。番組に引き込まれた。



NHKスペシャル「村田諒太 父子でつかんだ世界王座」

世界戦の直前、緊張・責任・恐怖感から調子を落としていた村田さん。世界戦直前にあった、保育園に通う息子さんの運動会は、村田さんのお父さん（息子さんのおじいちゃん）に、親子競技の出場を託した。しかし、人混みに入って体調を崩してはいけない大切な時、村田さんは親子競技への出場と、「練習ではいつも一番」だった息子さんのかけっこのビデオ撮りに保育園へ向かった。

「かけっこでドラマは起きた」

かけっこの練習では、いつも一番の息子さん。村田さんも「一番」を期待して観戦した本番の運動会では、途中で靴が脱げ、4着。しかし、最後まで頑張っている息子さんの姿に、不安や緊張・責任感の重圧から忘れかけていた「一生懸命やることが一番」という、本来の自分の姿を取り戻した。そこから、心身とも調子を取り戻し世界戦に臨み勝利した。

そんな村田さんには、もう一つの父子、村田さん自身の父との関わりもあったそうだ。プロデビュー戦、「金メダリストが負けたら恥だ」と、重圧を背負い込んでいた村田諒太さん（息子）に、父が送ったのが、哲学や心理学の本。村田さんは、父が贈ってくれた本を読む中で、「自分がコントロールできる事に集中する」という自分の哲学を持ち、重圧を乗り越えていった。その姿勢が、“疑惑の判定”とも言われた前回の世界戦のジャッジの採点に、不満や言い訳を一切口にしない、村田さんの生き様にもつながっているそうだ。

父、そして息子との父子、その絆に、単なる強いプロボクサーではなく、人間として強い、自分に負けない強さとは何か、深く考えさせられたドラマがあった。



「働く喜び」を考える もうすぐ勤労感謝の日

勤労感謝の日が近いからだろうか、ある雑誌に「働く喜び」について特集記事があった。「仕事というのは一人の力だけでできるものではなく、上司や同僚、部下といった多くの人たちの協力があってこそ、できるものといえる。…物質的な満足だけでなく、一生懸命仕事に取り組んだ達成感などの精神的な満足も大きな部分を占める」なるほど、と読み進めていると、仕事を進める上で大切な「謙虚さ」についても書かれてあった。

「謙虚な人は…偉ぶらないし、どんな相手からも素直に学ぶ姿勢を持った人」これも納得。教育の仕事で、子どもから学ぶ事の大切さもよく言われている。また、耳の痛い指摘もあった。「謙虚さがなくなる兆候…」いくつか紹介します。

- ・時間に遅れ出す
- ・挨拶が雑になり出す
- ・すぐに怒り出す。(寛容さがなくなる)
- ・自信が出てきて勉強しなくなる
- ・「ありがとうございます」の言葉が少なくなる

うーん！（自分もそんな時があるな…）

そして、最後、次のように締めくくってあった。「『働く喜び』、それは感謝の心があってこそ、味わうことができるものではないでしょうか。」と。

天美っ子生活総合発表会

11月18日（土）

- 1 オープニング 8:30 ~ 8:50
 - ・4年太鼓演奏 等
- 2 交流① 9:10 ~ 9:50
 - ・1・3・5年の発表
- 3 交流② 10:05 ~ 10:45
 - ・2・4・6年の発表

積極的なご参加をお願いします！
サイレント参観をお願いします！



松原市連合音楽会 聴く態度も…

11月15日（水）市内小学校が前半の部と後半の部に分かれて出場しました。本校は、前半でした。5年生は、本校での発表と同様、心に響く見事な合唱・合奏でした。そして、もう一つ感心したのは、他校の合唱・合奏を聴く態度でした。天美小学校はもちろん、参加した全ての学校が集中して聴いていました。発表して自信をつけたこと、他校の発表を静かに聴いて、心落ち着ける貴重な時間にもなったと思います。

日曜日は、第五中学校 いきいき環境フェスタへ！

11月19日（日）

10:00 ~ 14:00

P.T.A.が出店、子どもたちも体育館で取り組みをします。